

# 教育委員会だより

## 令和元年度 全国学力・学習状況調査 の結果について

今年4月に町内の小学校6年生（28名）、中学校3年生（33名）を対象に行われた全国学力・学習状況調査の概要をお知らせします。

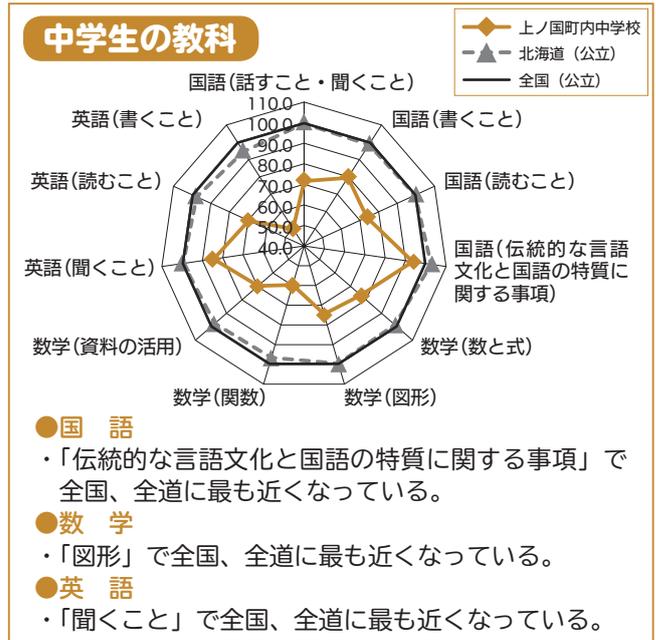
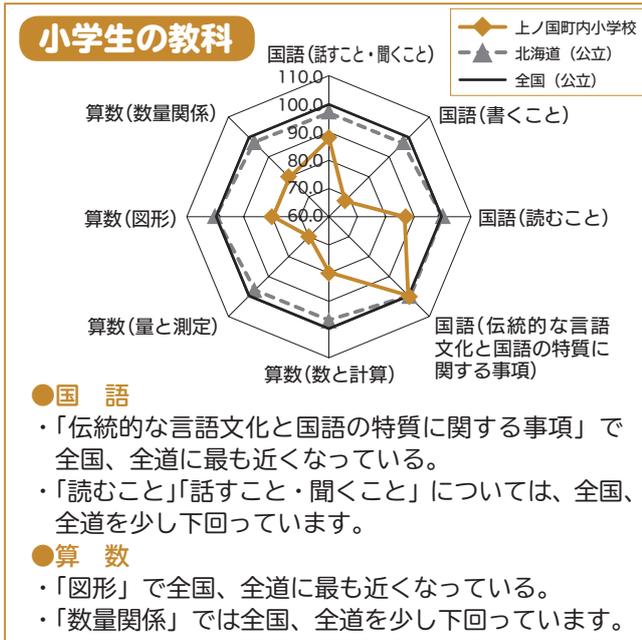
学力調査は小学校6年生の国語・算数、中学校3年生の国語・数学・英語の3教科で行われました。今年度から全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなりました。

### 1. 調査の目的について

本調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを継続することで、検証改善サイクルを確立することを目的としています。

本調査の結果は児童・生徒が身につけるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面である事に留意が必要です。

### 2. 調査結果の概要について



### 3. 児童生徒への質問紙から読み取る傾向

#### 「小学生の児童質問紙」

- 「国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合や、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した児童の割合が全国、全道を上回っている。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と解答した児童の割合も全国、全道を上回っている。

#### 「中学生の生徒質問紙」

- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合、「国語の勉強は大切だと思う」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と解答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。

### 4. 分析結果から見える成果について

#### 「小学生」

- 国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えたことで、学習内容の理解が深まり、国語の授業の内容がよく分かる児童の割合が全国を上回ったと考えられる。
- 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、国語の勉強は大切だと思う児童や、国語の授業で学習したことは社会に出たときに役に立つと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

#### 「中学生」

- 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等の具体例を挙げながら教えた結果「家で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が全国を上回ったと考えられる。
- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、国語の勉強は大切だと思う生徒や、国語の授業で学習したことは社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

### 5. 今後の学力向上の取組について

- ・保・小・中・高が連携・接続した社会に開かれた教育課程の編成に取り組むとともに、本調査の結果に基づき各学校における授業改善に向けた校内研修はじめ、各種研修を行い教職員一人ひとりのスキルアップを図り、子ども達の基礎学力の定着を目指します。
- ・外国語によるコミュニケーション能力の育成を目的とした英語塾を継続します。
- ・家庭における学習習慣の定着と学習方法の工夫改善に向け、テレビやスマートフォンなどによるゲームや動画の利用時間も含め、帰宅後や休日の家庭における時間の上手な使い方について保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

